



出店や舞台で健康考える

20日 南風原の県医師会館 縁日や寸劇も

楽しみながら健康を考えるイベント「第5回うりずんフェスタ」(主催・県医師会、県)が20日(金)午前10時～午後4時、南風原町の県医師会館で開かれる。飲食を中心に45のブースが出店する他、健康を考えるブースや舞台パフォーマンス、FECオフィスによるお笑い寸劇などがある。入場無料。(社会部・當銘悠)

イベントは健康長寿県の復活に向け、県民の健康意識の向上と生活習慣改善が目的。今年は出店数・企画内容ともに過去最大規模で、子どもによる手術体験コーナー(キャンセル待ち受け付け中)や縁日などを実施する。更年期ケアやがん教育、慢性肝臓病対策、食生活改善など、幅広い世代を対象としたテーマを取り入れている。

県医師会の田名毅会長は「家族で楽しみながら健康を考えられる内容となっている。多くの県民の皆さんにご来



うりずんフェスタへの来場を呼びかける(左から)県医師会の玉城研太郎常任理事、県保健医療介護部の糸数公部長、県医師会の田名毅会長、FECオフィスの山城智二代表=12日、県庁記者クラブ

場いただきたい」と呼びかけた。問い合わせは県医師会、電話098(888)0087。

【沖縄タイムス】2026年3月18日

出店や舞台で健康考える 20日南風原の県医師会館 縁日や寸劇も
沖縄タイムス社 提供

寄付

■県医師会など4団体から99万円 県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県看護協会は2月24日、各団体の会員等から募った募金99万6768円を県交通遺児育成会(中村一彦理事長)へ寄付した。



写真。4団体を代表して県医師会の田名毅会長は「県民の命と健康を守る専門団体として、これからは遺児の支援を継続していきたい」と寄付金を託した。中村理事長は「大切に活用し交通遺児の健やかな成長と自立に努める」と感謝を述べた。

【琉球新報】2026年3月4日
県医師会など4団体から99万円
琉球新報 提供

催し・集会告知

■20日にうりずんフェスタ、楽しみながら健康考える 県医師会と県は、健康意識の向上と生活習慣改善を目的に「第5回うりずんフェスタ」を20日午前10時～午後4時、南風原町新川の県医師会館で開催する。

飲食店を中心に45店が参加し、お笑い寸劇などのイベントも開催予定。県医師会の田名毅会長は「家族で楽しみながら健康について考えることができる」と幅広い参加を呼びかけた。

田名会長、県の糸数公保健医療介護部長、芸能事務所「FECオフィス」の山城智二社長らが12日に県庁記者クラブで会見した。前回は3471人の参加があったという。今回は出店数や企画内容ともに過去最大規模になる見通し。お薬相談コーナー、血圧測定コーナーなどもある。



(左から)県医師会の玉城研太郎常任理事、県保健医療介護部の糸数公部長、県医師会の田名毅会長、「FECオフィス」の山城智二社長=12日午後、那覇市の県庁記者クラブ

お笑い寸劇はかかりつけ医などをテーマにした内容だという。玉城デニー知事もトークイベントに参加する予定。

入場無料。店舗や駐車場などの情報はインスタグラムで確認できる。アカウントは@urizun.festa。問い合わせは県医師会、電話098(888)0087。(長嶺晃太郎)

【琉球新報】2026年3月14日
20日にうりずんフェスタ、楽しみながら健康考える
琉球新報 提供